

学校 番号	37	学校名	小諸 高等学校
----------	----	-----	---------

平成30年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成30年9月8日（土）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 開会前の1時間（第4時間目）授業参観
- 2 学校長挨拶
- 3 学校側から概況報告
 - ・資料により第1回以降の学校運営等についての概況説明及び報告
 - ・部活動の活動状況
- 4 学校評議委員からの意見
 - ・授業参観、学校運営について
- 5 三者協議会への出席
(生徒との意見交換)

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 開会前の1時間（第4時限目）に授業参観をしていただけるよう日程を組んだ。
- 2 生徒会主催の「三者協議会（生徒・職員・保護者の協議会）」に、学校評議員も参加して協議に加わった。
- 3 授業参観と三者協議会に重点を絞った会とした。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

授業参観では、この夏に設置された電子黒板を使った授業が多く実施されており、驚きや今後へのさらなる期待の意見をいただいた。

三者協議会では生徒、保護者（PTA役員）、学校評議員、職員が1グループ12～15名程度の6つの分科会に分かれて「よりよい学校をつくるには」をテーマとして3つの協議題「学校の安全性」「学校の生活」「学校の環境」についてグループ毎、意見交換をし、その結果を全体会で発表した。

評議員からは「先生と生徒との信頼関係が築けている様子が分かった」「皆で学校の改善を考える貴重な機会だった。1つ1つできるところから積み上げて欲しい」旨の意見が出された。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

学校外の立場にある学校評議員が三者協議会に参加することにより、様々な角度からの意見をいただくことができた。また、生徒が大人と対等な立場で討議することで、通常の生徒会活動以上に積極性・主体性を高める良い機会となった。

グループ討議の運営・司会等は全て生徒が行った。綿密な事前指導により、当日の討議の進行もスムーズで、活発な意見交換ができた。

評議員の三者協議会への参加は継続することに加え、一般保護者の参加を促したい。